

「鍵をなくして家に入れない」「トイレが詰まった」などの暮らしの中の困りごとに駆けつけてくれる、いわゆる「暮らしのレスキューサービス」のトラブルが増えています。

具体的なトラブル事例

事例
1

家の鍵を紛失したことに気づき、インターネットで検索して見つけた業者に依頼した。広告には「3,000円～」と書かれていたが、特殊な鍵だと言われ、10万円の高額請求をされた。

事例
2

自宅のトイレが詰まったので、インターネットで検索して出てきた業者に依頼した。広告には、3,900円～5,000円と書いてあった。「便器を外さないといけない」「パイプの洗浄が必要」と言われ、作業後に、11万円の高額請求をされた。

トラブルにならないためには？

☑ 広告の料金表示に注意しましょう。

「〇円～」などの金額表示をうのみにせず、作業前に見積りで金額の確認をしましょう。

☑ 不安を感じた時には、作業を断るようにしましょう。

現場に来てから、「今、詰まりを解消しなければ大変なことになる」「より高額な工事が必要になる」と消費者の不安をあおったり、契約を急かしたりする事例もみられます。当初想定していた料金とかけ離れた金額を提示されるなど、不安を感じた時には、作業を断るようにしましょう。

日常の暮らしの中で、急なハプニングが起こると、焦ってしまい、冷静な判断ができなくなることがあります。日頃から、信頼できる業者を探しておくなど情報収集しておきましょう。

広告などの表示額と実際の請求額が大きく異なる場合や業者に不審な対応があった場合には、消費生活センターにご相談ください。

ちよつと
ひとこと

濡れた手でトイレトーパーに触った時のことを想像してください。トイレには、トイレトーパーのように水に溶けやすいものしか流すことができません。掃除用のシートなどトイレに流せるとされていても、1枚ずつ流すなど注意が必要のようです。

太宰府市消費生活センター 毎週月～金曜日（年末年始、祝日を除く）

時間 午前9時30分～午後4時（正午～午後1時までは昼休み）

場所 市役所2階消費生活相談室

※予約不要・無料 ※電話での相談も受け付けています。（☎内線348）

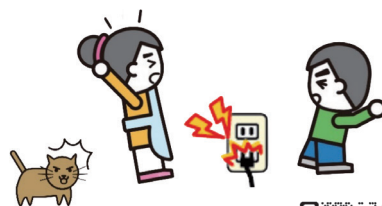


太宰府消防署からのお知らせ

太宰府消防署 ☎(924) 4119

電気器具などの火災を防ぐポイント

- 必要に応じて点検を実施する
- 危険なたこ足配線はしない
- 電気器具などは、正しく使用する
- 差し込みプラグに付着したほこりなどは取り除く
- 使用しない時はコンセントから抜く
- 傷んだコードは使用しない



動画でも確認しましょう

